

## 課税業者になれば、 いくら負担に？

年収300万円アニメーターの場合＝所得税、住民税、事業税、国保料、年金の負担は75万円。経費が月3万円として、税金などを納めると手元には175万円、月に14万5千円が残ります。インボイスを出すために、ほぼ1カ月分の生活費を失うことになります。



インボイス制度の影響  
(アニメーター、豊島区在住、40歳、独身)

売上げ	3,000,000	①	
経費	360,000	②	
消費税(簡易課税)	136,200	③	
所得(①-②-③)	2,503,800	④	
税金等	国保・介護保険料	315,560	⑤
	所得税	77,000	
	住民税	160,800	
	国民年金	199,080	
合計	752,440		
税引後所得(④-⑤)	1,751,360		
(月額)	145,947		

1カ月分の所得が消費税で消える

計算してみましょう

こんなに納めることに?!



消費税負担 自動計算シート(簡易課税)

業種区分	第1種 卸売業	第4種 1種～3種、5・6種以外
	第2種 小売業	第5種 サービス業(運輸業、情報通信業など)
	第3種 製造・建設業など	第6種 不動産業

事業区分	第( 4 )種事業
税込売上	8% 10% 合計
	5,000,000

あなたの納税額  
181,700円

色 のついた欄に入力してください ※手間請けの建設業者(第4種)の場合

消費税廃止各界連絡会のホームページに掲載中!



## 消費税の インボイスとは…

政府は、2023年10月から「インボイス制度(適格請求書保存方式)」を実施しようとしています。インボイスとは、税務署の登録番号がついた領収書や請求書のこと。これがないと仕入・経費の消費税が引けなくなるため、取引先や元請けは、下請け業者に「インボイス(適格請求書)」の発行を求めているのです。

- ①インボイス発行事業者の氏名又は名称及び登録番号
- ②取引年月日
- ③取引内容(軽減税率の対象品目である旨)
- ④税率ごとに区分して合計した対価の額(税抜き又は税込み)及び適用税率
- ⑤税率ごとに区分した消費税額等
- ⑥書類の交付を受ける事業者の氏名又は名称

インボイス(適格請求書)

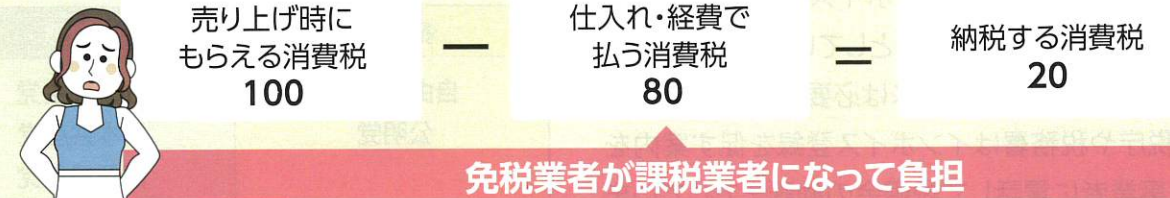
請求書		①
(株)〇〇御中	△△商事(株)	登録番号 T012345...
11月分 131,200円	××年11月30日	
②	③	
日付	品名	金額
11/1	魚 *	5,000円
11/1	豚肉 *	10,000円
11/2	タオルセット	2,000円
...		
合計	120,000円	消費税 11,200円
8%対象	40,000円	消費税 3,200円
10%対象	80,000円	消費税 8,000円
		* 軽減税率対象

## インボイスが出せないと どうなるの？

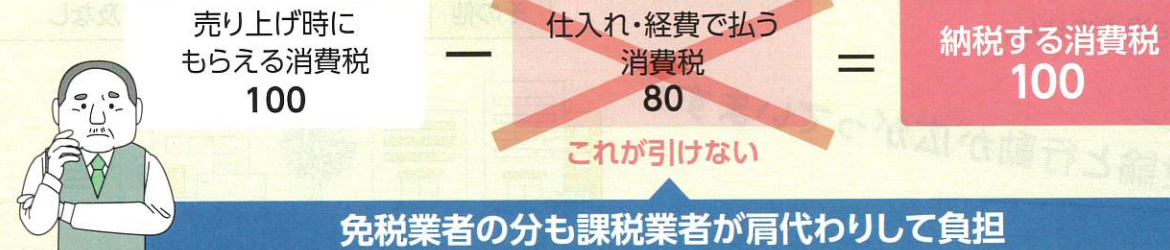


消費税は、売り上げから仕入・経費を差し引いた付加価値(利益)に課税されます。仕入・経費に含まれる消費税を差し引くことを「仕入税額控除」といいます。インボイスがなければ仕入税額控除が認められないため、免税業者と取引する課税業者の消費税負担が増えます。

インボイスを発行する課税業者との取引では…



インボイスを発行できない免税業者との取引では…



インボイス制度は、①免税業者が消費税を納めるか、  
②免税業者と取引する課税業者が免税業者の分も肩代わりして納めるかを迫る制度です。

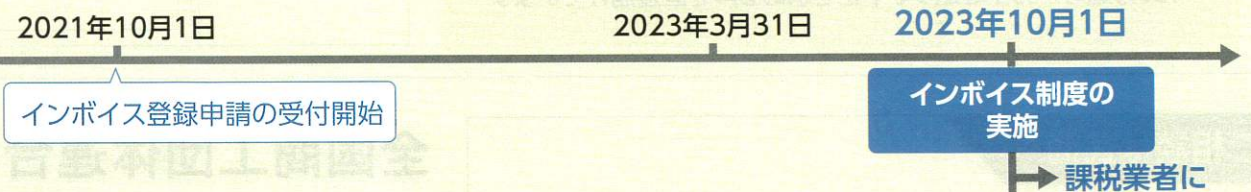
## 申請期限には 特例があります



発行事業者になるための登録申請は、原則23年3月末ですが「困難な場合」は「23年9月末まで」とする特例があります。「困難な場合」の程度は問われません。

登録申請のスケジュール

2023年10月1日から  
登録を受けるためには、原則として2023年3月31日までに  
登録申請書を提出。



インボイス制度実施は2023年10月1日